

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ちぼり本社・チボー建替工事	階数	地上4F
建設地	神奈川県足柄下郡湯河原町土肥一丁目15番1,2,3,4,5,8,9,10,11,12,13および70番20	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	470人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110時間/年
建物用途	事務所、物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年6月19日
敷地面積	2,289㎡	作成者	株式会社大林組一級建築士事務所
建築面積	1,616㎡	確認日	2016年6月23日
延床面積	6,059㎡	確認者	株式会社大林組



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 主に焼菓子の製造・販売を行う企業の本社および工場の新築計画である。また、大規模な見学施設を併設することで観光地である湯河原町の活性化の役割も期待されている。		
Q1 室内環境 本社部分については居住性の確保を重視する。また、工場部分については外部及び本社・見学施設からの汚染防止や防虫を重視する。	Q2 サービス性能 本社・工場・見学施設ともに、将来の変化を見据えて十分な余裕を持った階高設定と床荷重設定を行う。	Q3 室外環境 (敷地内) 北側は敷地境界から大きくセットバックし、付近の住宅への圧迫感と日影の低減を図る。南側は歩道に対し大きく開かれた見学施設を1階に設ける。東側には歩行者の目を楽しませるように植栽帯を設ける。
LR1 エネルギー 食品汚染リスクの低減のため、自然換気は積極的には行わない。運用管理の体制を設ける予定である。	LR2 資源・マテリアル 食品工場での汚染のリスク低減のため、排水の再利用は行わない。仕上材にはリサイクル品を複数品目使用する。	LR3 敷地外環境 駐車場は北側に集約し、歩行者の安全に配慮した。また、騒音源となる生産機器には外部への騒音対策を行う。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される